

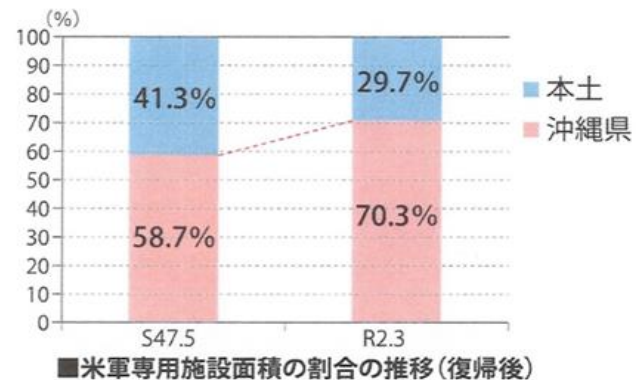
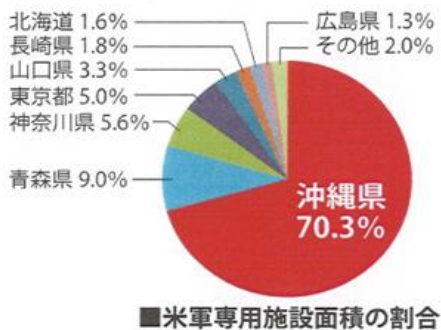
沖縄・基地・土地規制法

2024/2/12 「命の水」上映会＋つどい

仲松正人

戦争させない・9条壊すな！ 岐阜総がかり行動実行委員会

沖縄の負担



沖縄「復帰」までの大まかな流れ

- 1609年 薩摩藩による琉球侵攻
- 1872年 琉球藩（廃藩置県は1871年）
- 1879年 沖縄県
- 1945年 米軍上陸 4月 軍政施行（大日本帝国憲法の適用から外される）
6月23日日本軍の組織的抵抗終了 9月7日降伏文書署名
- 1952年4月28日 サンフランシスコ平和条約
- 1972年5月15日 施政権返還（日本復帰）

沖縄での米軍基地建設の経過

(1) サンフランシスコ平和条約締結前 前の7年間

占領軍としての徴発

ヘーグ陸戦法規52条1項「現品徴発及課役ハ占領軍ノ需要ノ為ニスルニ非サレハ市区町村又ハ住民ニ対シテ之ヲ要求スルコトヲ得ス」

(2) サンフランシスコ平和条約締結後 後ろの20年間

琉球列島米国民政府（1950年に軍政府が組織改変）の布令による土地接收

冷戦への対処

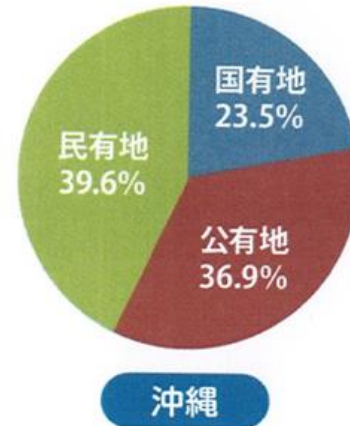
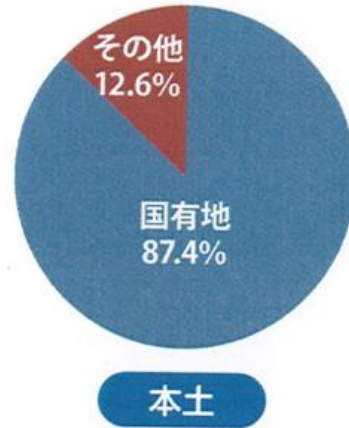
ベトナム戦争の出撃・兵站基地を強化する必要性

日本本土の反基地闘争の高まり

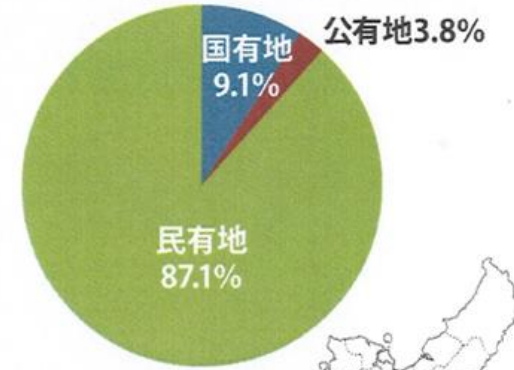
日本本土は高度経済成長（新幹線、オリンピック、万博）

民有地

民有地の割合が高い



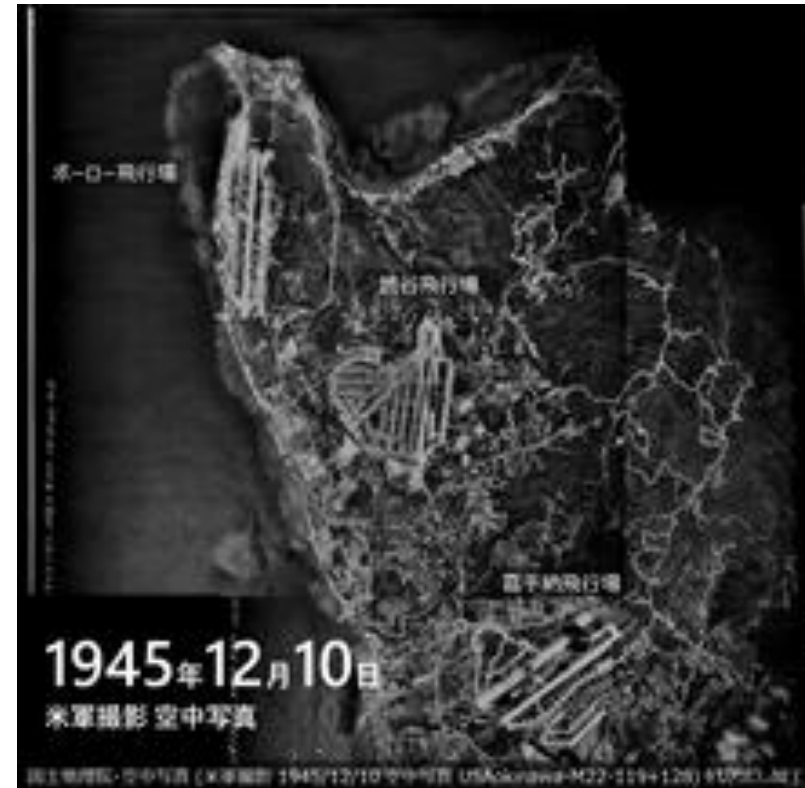
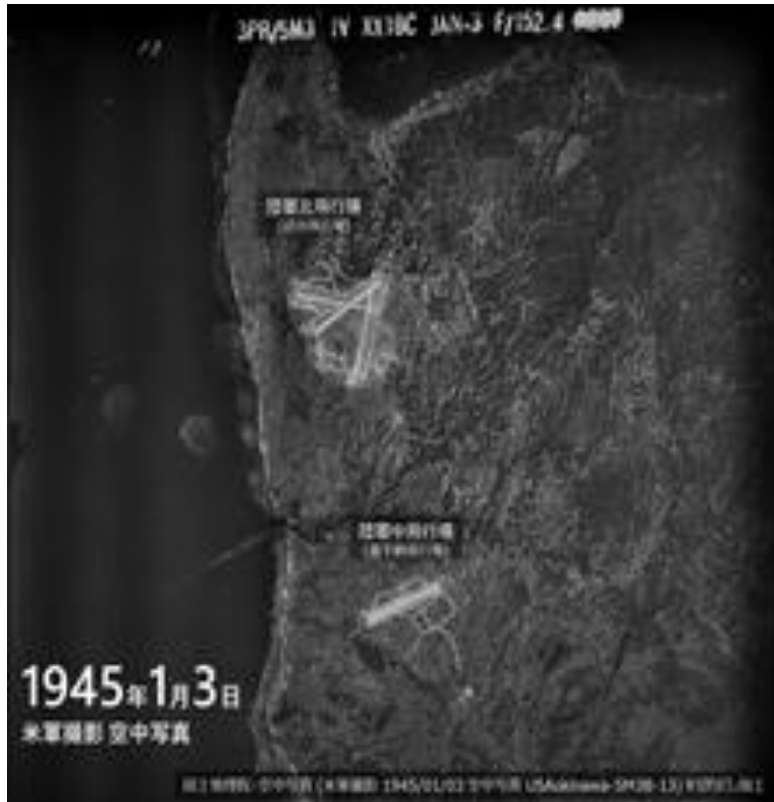
■嘉手納飛行場より南の軍用地の割合



日本軍基地を米軍基地に



中飛行場→カテナ基地 北飛行場→読谷補助飛行場

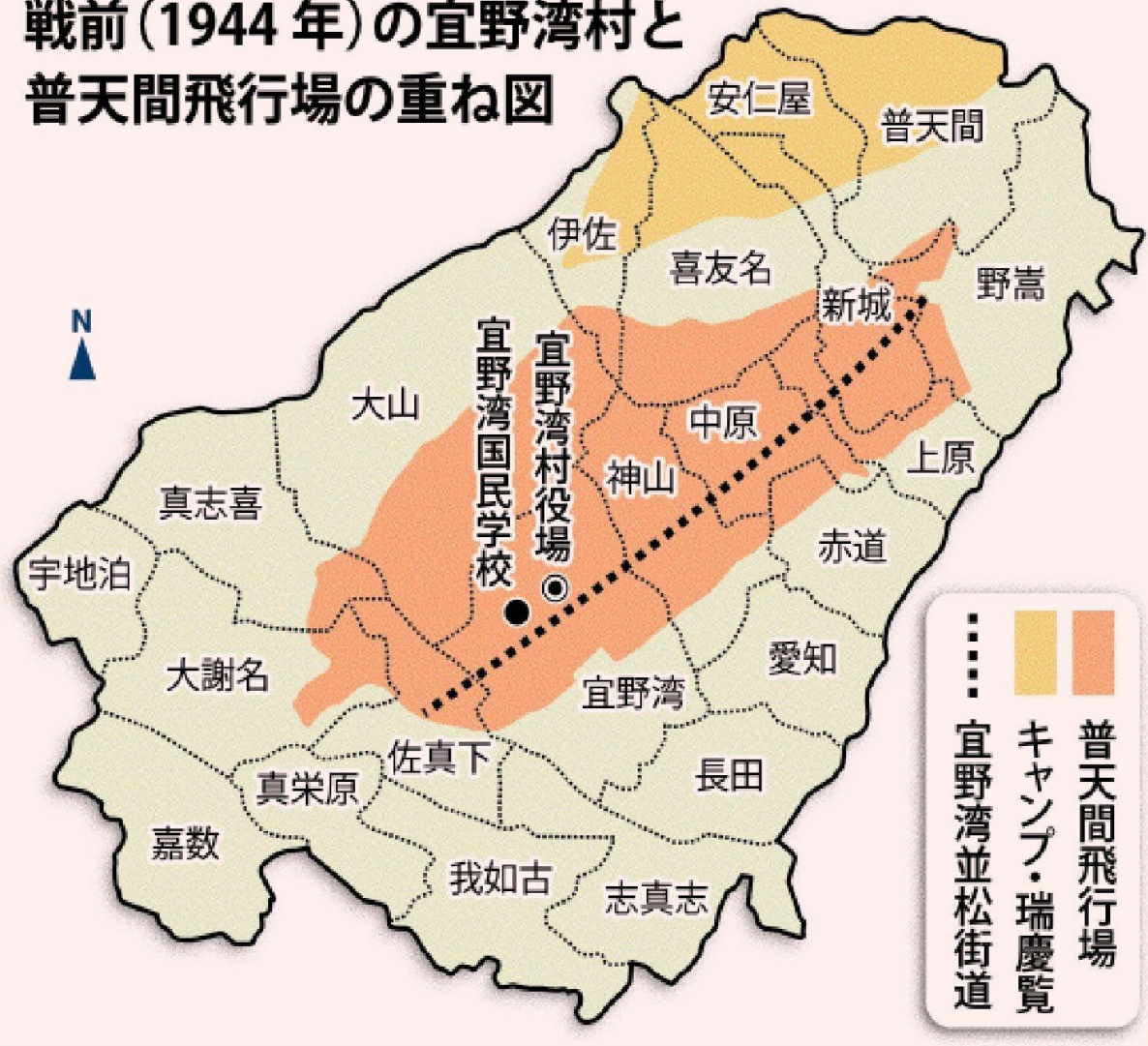


基地の周りは人口密集地



住民を困り込んだ際に基地建設

戦前(1944年)の宜野湾村と
普天間飛行場の重ね図



沖縄県公文書館

銃剣とブルドーザー

- 1953年4月 土地収用令
←土地を守る四原則
- 1953年4月 真和志村 銘苅・
安謝・天久
- 1953年12月 小禄村 具志
- 1955年3月 伊江島 真謝・西崎
- 1955年7月 宜野湾村 伊佐浜



辺野古新基地は「自ら提供した基地」



- 護岸設置済み
- 護岸設置予定
- 中仕切護岸
- 地盤改良の範囲

- 2013年 仲井真知事埋め立て申請承認
- 2014年 翁長知事当選 全小選挙区結果
- 2015年 翁長知事埋め立て承認取消
- 2018年 翁長知事死去・承認撤回
デニー知事当選
- 2019年 県民投票
- 2020年 設計変更申請 デニー知事再選
- 2023年 代執行

←琉球新報

基地があるがゆえの事件・事故

- (復帰前)
- 1955年9月 由美子ちゃん(6歳)事件(強姦殺人死体遺棄)
 - 1959年6月 宮森小学校への戦闘機墜落(児童11人含む17人死亡)
 - 1965年6月 隆子ちゃん(小5)事件(トレーラー墜落圧死)
 - 1968年11月 B52 嘉手納基地で墜落炎上
- (復帰後)
- 1995年9月 12歳の少女暴行事件
 - 2004年8月 沖縄国際大学に海兵隊ヘリ墜落・炎上
 - 2016年4月 うるま市女性強姦殺人事件
 - 2016年12月 オスプレイが名護市海上に墜落
 - 2017年10月 東村高江にヘリ不時着炎上
 - 2017年11月 米軍人飲酒運転致傷事件

沖縄のPFAS

米軍基地が原因

基地内での訓練や事故等の漏出で泡消火剤が土壌や地下水に長期間蓄積し、周辺の河川や湧水に滲み出たことに起因していると考えられている。

2020年4月 普天間基地からの大量漏出

2021年3月 自衛隊那覇基地から漏出

2021年6月 うるま市 米陸軍貯油施設

IPP Okinawa



データから見る沖縄のPFAS汚染から

沖縄県の有機フッ素化合物 (PFAS) 汚染状況

IPP 2021.02.8
Informed-Public Project 作成

沖縄市産業廃棄物処分場

中心部観測井戸
PFOS+PFOA 27000 ng/L
PFHxS 4800 ng/L

嘉手納基地

基地内河川など
PFOS+PFOA 38000 ng/L
周辺井戸及び湧水
PFOS+PFOA 3000 ng/L
PFHxS 720 ng/L
6:2FTS 1200 ng/L
基地内井戸
PFOS+PFOA 829 ng/L
PFHxS 150 ng/L

キャンプフォスター

周辺水路
PFOS+PFOA 150 ng/L
PFHxS 23 ng/L
6:2FTS 8.1 ng/L

キャンプハンセン

周辺排水路
PFOS+PFOA 290 ng/L
PFHxS 91 ng/L
6:2FTS 8 ng/L

普天間飛行場

	周辺湧水	周辺土壌
PFOS+PFOA	2000 ng/L	117689 ng/kg
PFHxS	500 ng/L	316 ng/kg
6:2FTS	1300 ng/L	

米軍による基地内調査
フェアービット
PFOS+PFOA 28800ng/L

泡消火剤漏出事故時 (2020.4.10) に周囲の環境水から検出された PFAS

PFHxA, PFOA, PFHpA, PFOS, PENA, PFHxS, PFDA, PFUnDA, PFDoDA, PFDS, PFNS, PFHpS, 6:2FTS, 4:2FTS

環境省暫定指針値=50ng/L

- ・沖縄県、報道、開示請求等により入手したデータを IPP が集約した。
- ・値は 2016 年から現在までの最高値
- ただし、PFOS+PFOA と PFHxS は同一地点ではないこともある。

体内蓄積

IPP okinawa 2021.03.07 データからみる沖縄のPFAS汚染

北谷浄水場から給水をされている7市町村

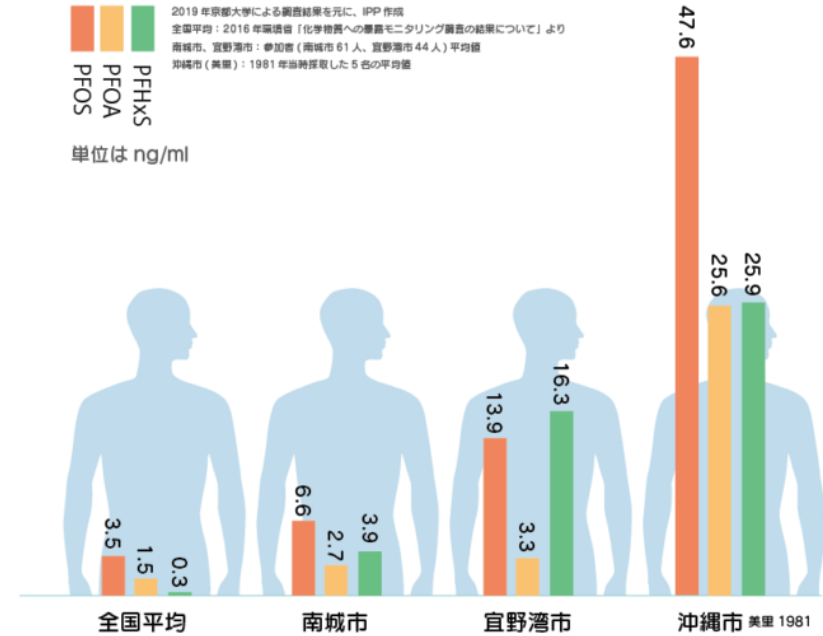


PFAS 血中濃度の比較 嘉手納基地の影響を受ける地域



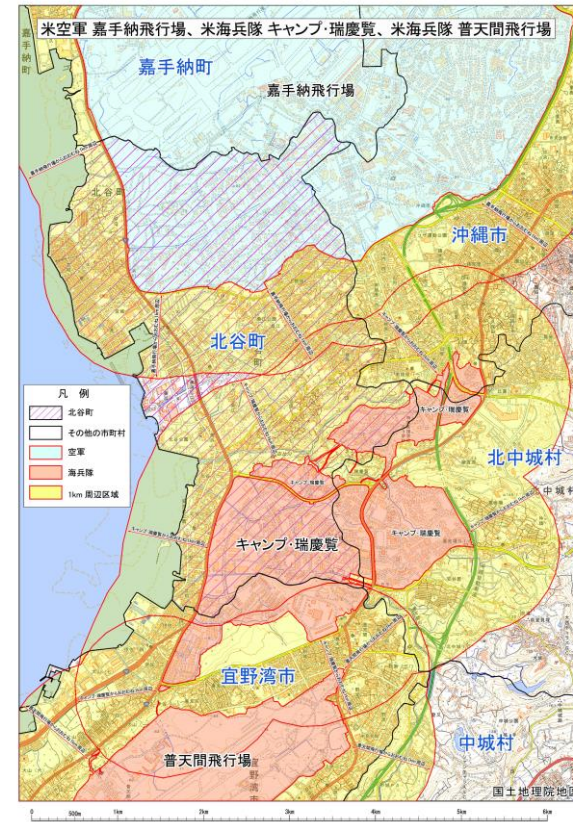
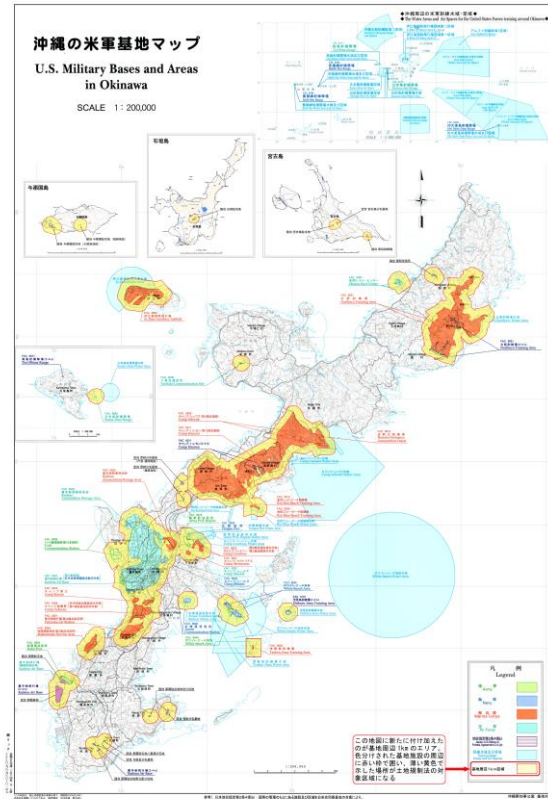
2019年京都大学による調査結果を元に、IPP作成
 全国平均：2016年環境省「化学物質への暴露モニタリング調査の結果について」より
 南城市、宜野湾市：参加者（南城市61人、宜野湾市44人）平均値
 沖縄市（美里）：1981年当時採取した5名の平均値

単位は ng/ml



1. 宜野湾市では、嘉手納基地周辺河川、また嘉手納基地内の井戸を水源とする北谷浄水場の飲料水を摂取している。
2. 南城市は、北谷浄水場とは別の水源を使用している。
3. 沖縄市美里（1981）は京都大学は使用水源の言及はない、当時、嘉手納基地由来の上水を使用したと推測される。

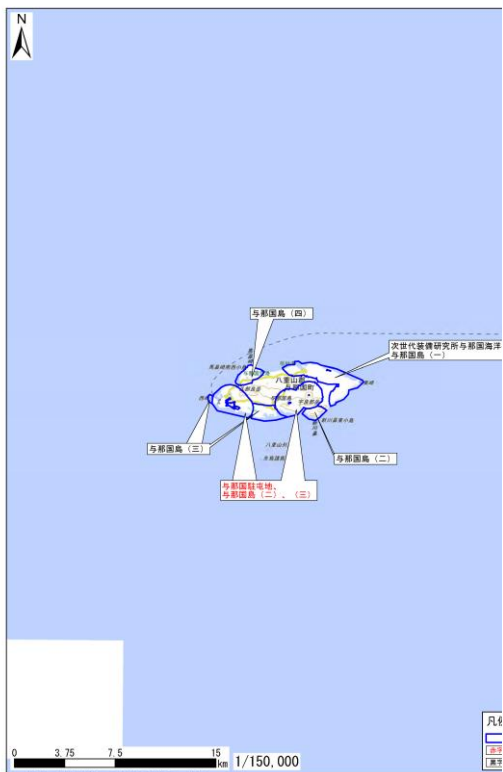
土地規制法での沖縄島の区域指定(想定)



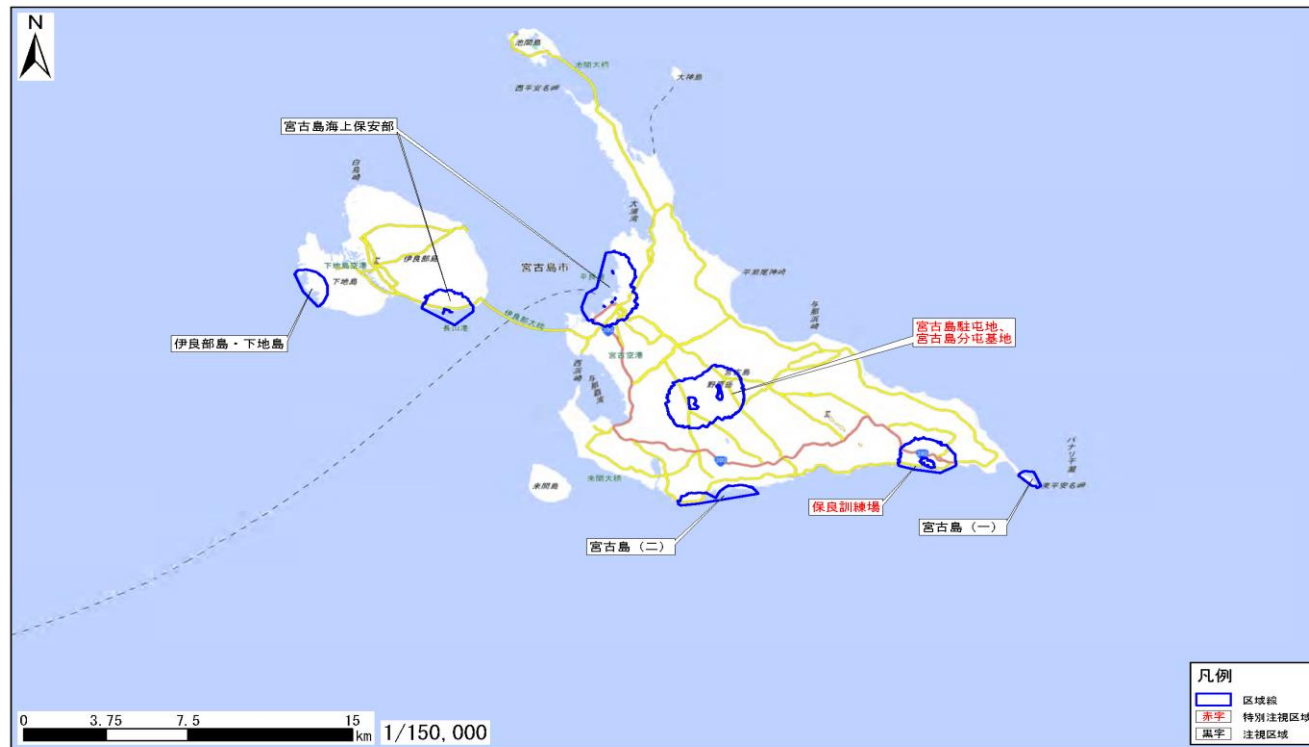
宮古・石垣・与那国 指定済み

沖縄県石垣市

沖縄県八重山郡与那国町

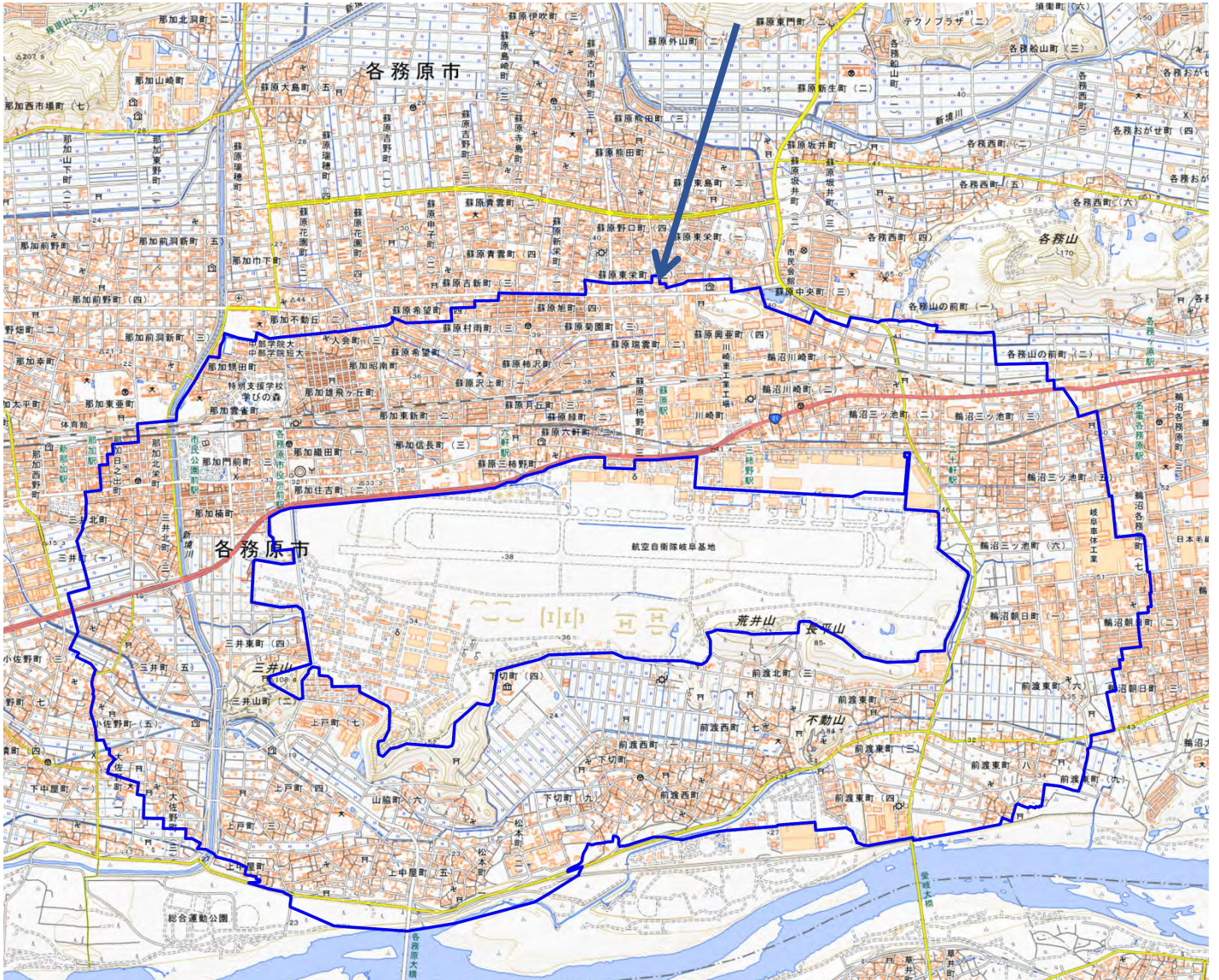


沖縄県宮古島市



凡例
 区域線
赤字 特別注視区域
黒字 注視区域

土地規制法 特別注視区域



三井水源地の配水区域

